

平成22年度 第2回 読書のまち八王子推進連絡会議 会議録

日時 平成22年8月25日(水) 午後6時00分～7時30分

場所 八王子市中央図書館 3階 会議室

出席者氏名

委員

三浦 眞一	今 圓子	斉木 治枝	小林 恵子
野口 佐和子	鈴木 康弘	松葉 由理子	大東 有希
大橋 道代	黒田 八千代	常盤 義輔	遠藤 護人
木内 雅彦	田中 大吾		

欠席委員

斉藤 和巳 穂坂 敏明

事務局

望月中央図書館長	中村生涯学習センター図書館長
田中南大沢図書館長	石井川口図書館長
中央図書館	樋口主査
生涯学習センター図書館	田中主査
南大沢図書館	新井主査 松島主査

傍聴人 0 人

事務局(田中南大沢図書館長)

本日はお忙しいところ、平成22年第2回読書のまち八王子推進連絡会議にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、これより、読書のまち八王子推進連絡会議の進行を三浦会長にお願いいたします。

三浦会長

お忙しい中、本日の会議にご参集いただきありがとうございます。本日の会議につきましては、過半数の委員のご出席をいただいておりますので、有効に成立しております。

斉藤委員、穂坂委員は欠席の連絡がありました。

傍聴人はございません。

会議録の署名委員は鈴木委員にお願いしたいと思います。

(鈴木委員の了解があった。)

それでは、会議資料の確認をお願いします。

事務局(新井主査)

恐れ入りますが、お手元の配布資料の確認をお願いします。

会議次第の次から

1・2として「八王子市図書館と学校図書館との物流イメージ(案)

3. 「2010年国民読書年記念・読書のまち八王子推進フォーラム」
4. 「図書館評価について」 資料4の後ろに「八王子市図書館における評価項目」が添付してあります。
5. 「利用状況等の統計」  
参考資料として、「ライブラリー八王子図書館報」  
以上ですが、不足などありましたらお申し出ください。  
(資料の確認が行われた。)

三浦会長

資料1. 2については事務局が揃っていないので、3. 国民読書記念フォーラムから始めさせていただきます。

生涯学習センター図書館田中主査

広報10月1日号掲載予定の「2010年国民読書記念読書のまち八王子推進フォーラム」等資料に基づきフォーラムの概要を説明した。

中村生涯学習センター図書館長

フォーラムの関係でポスターを作りますが、主催というかたちで「読書のまち八王子推進連絡会議」の名称を使わせていただきますが、ご了承願います。

三浦会長

この内容につきましてご質問等ございますか。

大橋委員

文庫連ですが、プログラムに多少の変動があるのですが、印刷する前に確認してもらえるのですか。

生涯学習センター図書館田中主査

はい、確認させていただきます。

木内委員

ポスターで、ワークショッププログラムの会場が書いてありませんが、実際印刷するときには入れるのですね。

生涯学習センター図書館田中主査

はい、入れます。

三浦会長

読書のまち八王子推進連絡会議が主催者として入ること、また、当日皆さんに是非ご参加いただきたいということをお願いしましてこの件についてはよろしいですか。

三浦会長

つづきまして、報告事項4の図書館評価について、事務局お願いします。

事務局（松島主査）

報告事項の4 図書館評価について 説明いたします。

平成20年6月の図書館法一部改正によりまして、図書館の運営の状況に関する評価及び運営状況に関する情報提供が努力義務規定として設けられました。運営状況の評価につきましては、平成22年度事業について、実施主体である図書館が自ら行うものですが、その際、地域住民の皆様や学識経験者の方々の意向が適切に反映され、評価の透明性や客観性を確保するために、平成22年5月28日開催の生涯学習審議会定例会に「図書館の運営状況に関する評価について」諮問をいたしました。

図書館評価の参考例として、都立図書館で21年度に実施しました自己評価結果の一部とそれに対する「都立図書館協議会の意見」を添付いたしました。評価項目としては資料にありますとおり、事業別に12の項目が挙がっておりますが、その中で、1. タイムリーな企画展等の実施と5. レファレンスサービスの充実について、別紙1として添付しております。また自己評価に対する意見も別紙2として添付してあります。これらも参考として、八王子市図書館として自己評価を行い、生涯学習審議会よりご意見をいただきたいと思いますと考えております。

なお、八王子市図書館における評価項目として、22年度予算における事業項目を参考に添付させていただきました。

三浦会長

基本的には、この会は読書推進ですから読書というものについて捉えている、生涯学習審議会は図書館行政その他について議論する形になっています。したがって図書館側で行った事業の評価については、生涯学習審議会でも外部評価を行い、その報告を受けて読書という観点から意見があれば、こちらから生涯学習審議会に出させていただくこととなります。正式には来年度からになりますが、評価上の具体的なフォーマット等については今後事務局から出されたものを生涯学習審議会でも審議され決定されたものがこちらに報告という形で上がってくると理解してください。

三浦会長

それでは、報告事項5「平成21年度図書館統計について」事務局から説明をお願いいたします。

中村生涯学習センター図書館長

平成21年度図書館統計がまとまりましたので、報告いたします。

統計数値をお話しする前に、現在の読書傾向についての調査がありますので、お話しします。

この調査は、毎年秋に、毎日新聞が実施しています世論調査（第63回読書世論調査）において、書籍を読む人が全体で48%となり、前年の調査から10ポイント減少していると報道されています。また、読売新聞の調査（読書週間世論調査）でも、読書週間前の1か月の間に本を1冊も読まなかった人が、前年調査より7ポイント増加し、全体の53%になったと書かれています。

さらに、図書館の貸出数が増える一方で、新刊書は売れずに景気悪化の影響が現れているとの指摘もされていました。

お手元の別紙「利用状況の統計」をご覧ください。21年度図書館統計において、新聞で指摘されていました「貸出数」については3,080,245冊で前年と比較して74,733冊（2.5%）増となりました。

別紙「貸出冊(点)数の推移」をご覧ください。この傾向が顕著に現れたのが20年度からで、それまでの5年間は貸出数は「年間290万冊前後」で推移をしていました。

さらに、新聞の記事を裏付けるかのように、図書館においては「リクエスト件数が大幅に増加」しています。つまり、自分の読みたい本を買うのではなく、図書館に要望を出し「借りて読む」傾向を表しています。

別紙「リクエスト資料受付数の推移」をご覧ください。インターネット予約が始まりました、16～17年度の数字を除いて考えますと、18年度から19年度までの伸びが平均「35,000冊」前後で推移していましたが、図書館から本を借りて読む傾向が強くなった20年度は前年「66,827冊」増、21年度も前年「53,783冊」増と、1年間で増える件数が2倍となるほど、多くの方からリクエストが図書館に寄せられています。

リクエストのかけ方にも特色があり、窓口でリクエスト用紙に書いて渡される方が195,046人（32.9%）に対して、インターネットや館内検索機（OPAC）からリクエストをかける方が396,960人（67.1%）と大半を占めています。

先ほどお話ししました、読売新聞の世論調査分析記事に書かれていました「図書館の貸出数が増える一方で、新刊書は売れず」と指摘された点について、21年の出版動向が、出版ニュース社の発行している「出版年鑑2010」に書かれています。

21年の新刊出版点数は80,776点で、前年比1.1%（859冊）と若干減少に歯止めがかかりましたが、書籍売上額については9,137億9,209万円で、前年比4.2%減となっています。特に、村上春樹氏の書かれた「1Q84」が200万部を超える大ベストセラーになっているにもかかわらず、新聞が指摘したように、売上額が大幅に落ち込んでいました。

このような社会情勢の中で、市民が求める本を迅速に提供し、図書館の利用を増やすと共に、本を借りるだけでなく、情報を調べる施設であることを理解していただく努力をして、新たな図書館利用者の開拓を進めたいと考えております。

報告は以上です。

三浦会長

今説明いただきました内容について、何かご質問はございますか。

大橋委員

これからの図書館は、レファレンスをもう少し充実して行って、情報を求めて人が来るように施設を充実して行ってほしいと思っているが、そのようなデータはあるのでしょうか。

中村生涯学習センター図書館長

統計の中にレファレンスは無いが、数字は取ってあります。図書館が努力することによって、傾向としては、件数は増えています。

小林委員

貸出点数の推移で14年度との比較になっていますが、なぜ14年度なのですか。あと、表で入館者・利用者数が分かっているが、一人当たりの年間貸出数がわからないと単純に利用が増えていることにならないのではないかと。

中村生涯学習センター図書館長

14年度から21年度を比較していることですが、図書館は15年7月から中央図書館と生涯学習センター図書館で通年夜間開館を実施しています。大きく変わった年なのでそこで比較させていただいています。

入館者、利用者数ですが、入館者の中には、資料を借りなくても、本をご覧になる方、新聞・雑誌を読まれる方、調べ物をする方、などたくさんいらっしゃいます。利用者数は実際に本を借りた方です。

入館者数が増えていればそれだけ多く利用されていると理解しております。

木内委員

夜間入館者数で、南大沢18年度25,000から19年度52,000と倍増している理由は何ですか。

中村生涯学習センター図書館長

南大沢図書館と川口図書館については、19年2月から通年夜間開館を開始しておりますので、18年度と大きく違っております。

齊木委員

図書館で、こういうアクションをしたらこれだけ利用者数が増えた、これだけ貸出数が増えたというところも合わせて、報告として聞きたかった。

望月中央図書館長

考え方だけお話させていただきたい。施策との因果関係自体を特定するのは難しいというのがひとつあると思います。現時点で言えるのは経済状況とか全国的に同じ状況だとすればそこから類推して傾向を申し上げています。開館日数を増やすとか開館時間を延ばすということでは、因果関係を言うことはできると思いますが、ただそれ以外にもいろいろな取り組みによって間接的にこうなったのかなということはまだもう少し分析してご報告できるように環境を整えていきたいと思えます。また、どういう施策からどのような結果が出るかということは、きちんと評価をしていかなければならないと考えています。

齊木委員

年齢別の利用者の分析が必要なのではないかと私は思います。利用者のカテゴリーに分けて傾向を分析するとそれに対するアクションも取れるのではないかと思います。

石井川口図書館長

先程の14年度との比較ですが、15年度から読書のまち八王子の様々な事業に取り組んでおります。取り組み前の14年度と後とを比較することによって読書のまちがこれだけ効果があったということがひとつの視点ですが、数値としてお示しできるのではないかと思います。

大橋委員

図書館の入館者はどのように数えているのですか。

中村生涯学習センター図書館長

出入り口にあるセンサーでカウントしていますが、北野分室は無いので、手でカウントしています。

三浦会長

それでは、図書館システムの更新について説明願います。

石井川口図書館長

図書館システムの更新につきましてご報告いたします。

平成15年度に導入した図書館システムは、5年間のリース期間及びデータの許容件数など超えたことから、本市のゆめおりプランで定

められた長期計画の一環である実施計画で23年度から更新することを予定していたところです。

図書館システムが処理・管理している主なものは、図書館所蔵資料152万点の管理、年間300万冊の貸出返却処理、インターネット等からの予約資料59万点の処理、33万人の利用者の管理等を担っています。導入後8年目を迎え、老朽化が進んでいることから前倒して10月から着手する旨教育委員会として決めましたが、現在市内部で調整中です。

今回の更新は、老朽化に対応するもので、時代の変化に対応した市民サービスの向上と学校支援拡充等を実現するためのシステム開発は、23年度に行う予定です。稼動時期は平成23年度からを予定しています。

又、契約方法は各社からの提案方式である、プロポーサル方式を予定しています。

三浦会長

つづきまして、報告事項2 団体貸出に係る図書館—学校間の物流システムについてお願いいたします。

樋口主査

(団体貸出に係る図書館—学校間の物流システムについて概要を説明した。)

大橋委員

物流システムは、団体貸出として扱ったもののみが回ってくるのですか。

石井川口図書館長

現在は、団体貸出ということで考えておりますが、それ以外については、今後の検討課題になるかと思えます。

望月中央図書館長

一応、現在の団体貸出より相当貸し出しが増えるということ想定して本を今後、購入していく計画を作っております。

松葉委員

調べ学習用図書は何校分のキャパがあるのですか。

中村生涯学習図書館長

調べ学習用の本はできる限り補充していますが、利用が重なってしまった時は、十分に提供できないこともあります。図書館では、目的の本が無い場合それに該当するような本を提供するよう努力していま

す。同じ本が何冊ということではありませんが、調べ学習用図書としては、少しずつ増えてはおります。

今委員

学校図書館の図書予算というのは、学校によって違うのですか。それで買っていいというのはどのように決められるのですか。

田中委員

予算配当につきましたは児童・生徒数等違いがあり、学校によって違っております。学校図書の購入につきましては、各学校で判断し学校で購入しています。

三浦会長

先生方、今の件で、何か。

鈴木委員

うちの場合ですと、年間40万円しか割り当てることができていないという現状です。

三浦会長

それでは、報告事項6 今職務代理の表彰等について、事務局からご説明をお願いします。

望月中央図書館長

このたび、今職務代理におかれましては、全国公共図書館協議会の方から表彰されましたのでご報告いたします。

今回の今先生の表彰は、長年、図書館協議会の委員などとして功労のあった方に送られるものです。今先生におかれましては、本市、図書館協議会の設立間もない頃からの委員として17年間、そのうち会長として7年間、本市をはじめとする公共図書館の発展に多大なご尽力と功績があったということで認められたものでございます。今先生は本市の他に草加市、多摩市でも市の図書館の協議会において会長などの要職を歴任されておりますが、今回八王子市中央図書館の推薦によりまして、表彰の栄に浴されることになりました。事務局からも心よりお祝い申し上げます。

また、今先生には、4月時点で委員の再任につきましてご無理を申し上げてお願いしておりましたが、先生からのご意思もございまして本年9月をもちまして、読書のまち八王子推進連絡会議委員を退任されるということで、表彰のお知らせと合わせまして皆様にご報告いたします。

三浦会長



それでは、その他でございますが、第1回の会議での質問につきまして事務局より説明願います。

田中委員

学校図書館サポート事業で、サポート重点校への巡回が月1回では、多すぎるので変更できないかとのご意見をいただきました。

現在、サポート事業はスタートしたばかりですが、月1回巡回させていただきまして、学校と意思の疎通を図り整理を進めていく上で月1回の巡回は必要であると認識しております。

大東委員

重点校のボラティアの方とお話したところでは月1回では、やっていく時間が無く、少し厳しいという意見でした。今後、実際に重点校がどう変わったかどのような成果が出たかなどのアンケートをとっていただき、それを活かして来年度またステップアップしていただきたい。

三浦会長

他にご意見など無ければ、次回の日程につきまして事務局より願います。

事務局（田中南大沢図書館長）

今回は3ヶ月後の11月になります。

11月26日金曜日でお願いいたします。

三浦会長

それでは、本日の会議は以上をもちまして終了させていただきます。